



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.2
令和4年4月29日
文責：校長 福島

椅子を丸くならべてみた



3階の3年生と4年生の間に多目的に使うことができる教室が1つあります。少人数指導等に使うことが多いのですが、ほかの用途でも使えないかとかねてから考えていました。

2階にランチルームがありますが、コロナ禍にあってランチルームとしては使えず、水色のかわいい椅子がたくさん使われずに重ねてありました。「これだ！」ランチルームの椅子を20個、机椅子倉庫から木の椅子を20個運び入れ、丸くならべてみました。なんだか楽しそうだと思いますか。水色と木の椅子が半々で交互になっていることも何かが生まれそうです。

「校長先生、中休みにこの部屋使っていいですか。」さっそく4年生が尋ねてきました。「そうこなくっちゃ、待ってました。」これからこの教室でわくわくする活動がたくさん生まれることを願ってやみません。

大地を潤すと木々は自分の力で根を張り枝葉を茂らせます。潤った環境を整えれば子供は自分の力で伸びていく力をもっています。安心があり、いつもわくわくするような環境を整えたいという願いが「潤い」という言葉には込められています。

子供だけでなく、先生たちにも柔軟な発想を持ってほしいと常々考えています。この部屋を見た先生たちが、ここで何かできないか考えてくれたらうれしいです。道徳の授業をお互いに顔を見ながらやったり、帰りの会をこの部屋でやったりするのも面白そうです。感染症対策を行った上で、お互いに顔を見ながら対話をしていくことはとても大切なことです。

子供がよりよく育っていく上で、いい環境が整っていることは重要です。先生たちにこんな話をしました。「小学校において、子供たちに最も影響を与える環境の一つは『先生』です。」

ゴールデンウィークが始まりました。どうぞ潤いのあるゴールデンウィークをお過ごしください。